

森づくりボランティア体験会 活動報告

美しく様々な生き物が暮らす豊かな横浜の森は森づくり活動により守り育てられています。森づくりボランティア体験会では・・・

鴨居原市民の森（緑区）

作業前の様子

①林の中に、先駆性樹種（低木）が多数生育

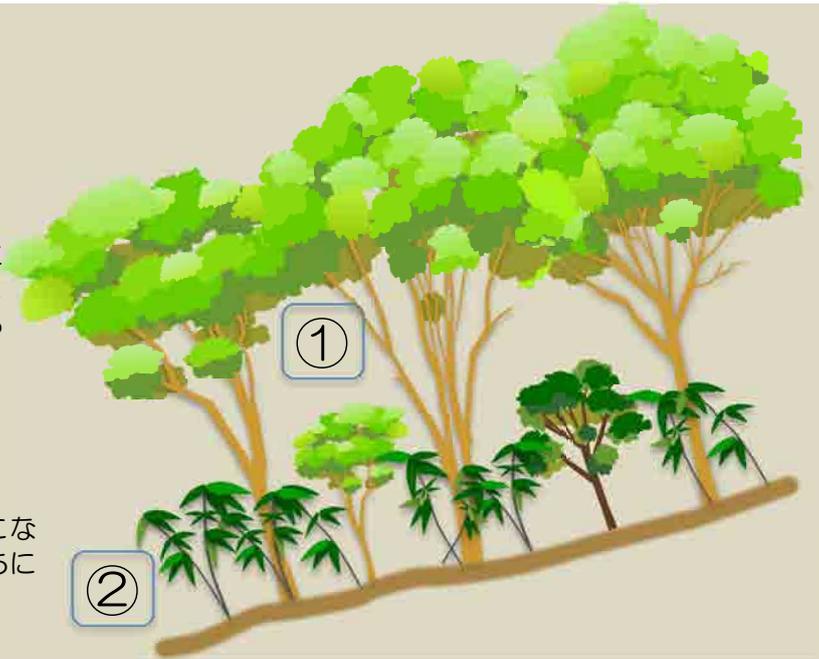
【課題】

先駆性樹種とは、明るくなった場所に最初に侵入する樹木（カラスザンショウ やアカメガシワなど）のことで、これが増えすぎると他の植物が生育しにくくなります

②アズマネザサが優占

【課題】

ササが増えすぎると地表付近は真っ暗になり、本来見られる野草や樹木の実生は育ちにくくなります



作業の実施

2019年11月2日（準備から後片付けまで含めて2時間程度でした）

参加人数：6人（経験者から初心者まで多くの方に参加していただきました）

林内の先駆性樹種や常緑樹を選択的に伐採し、ササ刈り、落ち枝や倒木の搬出などを行いました。



当日の流れ

集合、移動、愛護会長の挨拶
道具類の準備、体操
森の説明、危険予知活動（KY）
作業範囲や保護植物の確認
班ごとの作業
道具の手入れ
活動の振り返り、解散



菅原会長
（鴨居原市民の森愛護会長）

～ 参加者からの感想 ～

- 初めてこのような作業に参加し、非常に充実した体験だった。
- 6人でこの程度しかできないので、森づくりの大変さを感じた。
- 傾斜地での作業となり、安全対策の必要性を感じた。



作業後に集積した伐採材



先駆性樹種、ササがなくなり、林内はとても明るい環境になりました

将来、後継樹となる落葉低木樹など、保護したい植物はきちんと残されていました

明るくなった林床にはスミレ類などの野草を多数みることができました



オカトラノオ

サクラソウ科
花の先が虎の尾のように垂れ下がるのが名前の由来です。明るい林内や草地によくみられます



タチツボスミレ

スミレ科
花後、立ち上がって高くなります
明るい道端や林内によくみられます



ツクバキンモンソウ

シソ科
ジュウニヒトエの仲間で筑波山で見つかったのが名前の由来です。
明るい林内でみられます

そのほかにも落葉低木（ムラサキシキブ、エゴノキ、ウグイスカグラなど）や野草（スゲ類、キンラン、シュンランなど）が多数みられました



ハウチャクソウ

イヌサフラン科
明るい林内に群生してみられます、実は黒く熟します



ナルコユリ

キジカクシ科
明るい林内でみられ、花の並んだ姿が「鳴子」に似ているのが名前の由来です

今後は・・・？

明るくなった林内には、今後も先駆性の樹種やササなどが侵入する可能性が高いため、冬の時期に選択的除伐やササ刈りを継続していく必要があります。
このように森づくりの作業はとても労力がかかるため、行政だけでは力が及ばないことが多くあります。
是非、みなさんも今後の森づくり体験会に参加してみてください。